

とよひかり珈琲店

奄美大島

あさお あけみ
浅尾 朱美

奄美群島全体が、やりたいことにチャレンジできる島であってほしいと同時に、そうなるポテンシャルが十分にあると思ひ、自分も何か力になれることはないかという想いでプラットフォーム作りに関わってきました。クラウドファンディングにチャレンジすることは「自分のやりたいこと」や「誰かのために役に立ちたい」という想いを伝えることができる、知ってもらえることができることに繋がります。一歩前に進んでみたいという想いが芽生えてきたら、クラウドファンディングで自分の背中を押してみようという選択肢があることを、ぜひ思い出してくださいね。

現在の活動内容

宇検村の湯湾集落にて自家焙煎の珈琲店「とよひかり珈琲店」を運営しつつ、宿に併設する1日1組限定の泊まれるコーヒーホテル「14hikari coffee inn(トヨヒカリコーヒーイン)」の開設準備しております。



これまでの活動実績

2015年4月に宇検村の地域おこし協力隊として奄美大島に移住してきました。協力隊の任期中に、後のとよひかり珈琲店となる空き家を改修し、任期3年目の時に創業しました。空き家の改修時には、地域の方の力を借りて不用品の処分や解体作業を行い、資金集めのひとつとしてクラウドファンディングにも初挑戦しました。その後、創業4年目にコーヒーホテル併設のために再びクラウドファンディングに挑戦しました。

アビコムデザイン合同会社

奄美大島

さこだしんご
迫田 真吾

今からは支援者やファンを巻き込んだ商品開発やプロモーションが時代に合っていると想ひ、2019年の『奄美市ICT先進技術習得事業「先進技術習得事業」』にクラウドファンディングを島に広めたいと思ひ提案するも不採用。ちょうどタイミングよく奄美群島広域事務組合が「奄美群島withCAMPFIRE」を立ち上げたので、キュレーターとして参加しました。クラウドファンディングはWeb上で資金を集めるだけでなく、テストマーケティングとしても活用できるので、色んな問題や課題を解決するための一歩としてチャレンジしやすい仕組みだと思ひます。是非、一緒に奄美群島を盛り上げて行きましょう！

現在の活動内容

私は現在、アビコムデザイン合同会社の代表社員として活動しています。アビコムデザインは「made in amami を全国へ拡げのお手伝い」を企業理念として掲げている鹿児島県の離島「奄美大島」の小さなデザイン会社です。主に『ホームページ作成・Web制作』『各種デザイン・DTP制作』『お土産・オリジナル商品開発』『セミナー講師・人材育成』などの事業を行っています。

これまでの活動実績

東京のIT企業に在籍時、奄美大島へUターンし起業すること決意。システムエンジニアからWebコンサルタントへ社内転職し、200社以上を担当した経験を持つ。奄美大島へUターン後、2011年に起業し、Web制作やグラフィックデザインをする傍ら、業務で得たノウハウをセミナー講師としてレクチャー。

また2020年から、かごしま産業支援センターのよろず支援拠点コーディネーターとして奄美地域を担当し、地元企業の経営相談やオンラインセミナー等も実施。



Shima Hotel

与論島

のうつか ゆうすけ

能塚 勇輔

初めてクラウドファンディングを行ったのは、コロナ禍の2020年5月、与論島の宿泊施設の有志による未来の宿泊券プロジェクトでした。

2度目は、2021年5月、起業応援コミュニティShima Labo YORON立ち上げのプロジェクトでした。どちらも準備含め3~4ヶ月ほどの時間をかけ、本業と並行して行うには非常にハードなものでした。それでも、達成するまでの過程や達成後に得られるものもとても多く、自分たちの考えを知ってもらうことで世界が広がることを体験できました。島では特に、困った時はお互い様です。よろしくお願いします。

現在の活動内容

2020年3月から、与論島にて、1日1組限定の宿『Shima Hotel』を運営しています。同時に、20~30代の起業応援コミュニティ「Shima Labo YORON」を開設し、島外在住の若者が与論島で起業しやすい仕組み作りをしています。本年度はこの活動が与論町創業機運醸成事業として採択され、ワークショップやマルシェの開催が予定されています。

これまでの活動実績

2020年1月に東京から移住し、家探しに1ヶ月、店舗のセルフリノベーションに約5ヶ月かけ、Shima Hotelをオープンしました。ここまで2年間宿の経営・運営を経験し、たくさんのお客様にご利用頂いています。コロナ禍の2020年5月、与論島の宿泊施設の有志による未来の宿泊券プロジェクトでクラウドファンディングを実施。2021年5月、起業応援コミュニティShima Labo YORON立ち上げのプロジェクトで2度目の実施。



喜界島観光物産協会事務局長

喜界島

たなべ だいち

田邊大智

これから起業しようとする皆さんへ、まずは第一歩を踏み出そうというその勇気は称賛に値します。そして何より「島でがんばりたい」というその気持ちは何より嬉しく思います。島を想う気持ちを存分に語り合い、そして夢の実現に向かって一緒に走り出す仲間として、精一杯の応援をさせていただきます。

現在の活動内容

喜界島観光物産協会の事務局長。島の為になるのであれば何でもやります。をモットーに掲げ、仕事はもはやライフワークに。ガイドとしても陸から海まで広くカバー。時には島人のお困り相談や、パソコンの修理なんていう案件もこなす日々。よろこびの島のおもてなし精神を受け継ぎながら、そんな島の良さをより多くの人に知ってもらえれば嬉しいです。

これまでの活動実績

2015年に喜界島の地域おこし協力隊の第一号として就任。各種イベントの実行委員会を立ち上げながら、島内外の交流人口増を目標に観光客や移住希望者への発信・コーディネートなどを行う。任期満了後も地域おこしやイベント運営をし続けたいと思い古民家を購入し、個人事業主として起業。環境省事業「サンゴの島の暮らし発見プロジェクト」の担当や、喜界島観光物産協会を兼任。現在に至る。



作家・プロデューサー

奄美大島

みたに KiKi あきこ 三谷 KiKi 晶子

奄美で暮らして10年。島にはここにしかない宝物がたくさんあり、わたしはそれらに助けられて生きてきました。奄美群島にもともとある、楽しさ、面白さ、魅力、輝き。それぞれの島が持つ特性をそのままに、かつ現代的な方法でアピールし、大切なものを次世代に繋ぐ。そのために、わたしは『奄美群島with CAMPFIRE』のキュレーター・起業準備サポーターになりました。わたしは主に、文章、ビジュアルプロデュース、SNSを使ったPRが得意です。最近、InstagramとFaceBookが海外で話題になったので、海外展開を考えている方のお役にも立てると思います。みんなで、楽しい島を、さらに楽しくしましょう。

現在の活動内容

作家・プロデューサーとしては、奄美群島にまつわる伝説をモチーフにした絵本とエッセイ、ノンフィクションコラムの出版、既存の著作のリニューアル販売をするために、奄美大島で出版社及びクリエイティブエージェンシーを設立する準備中。インスタグラマーとしては、主に海外のアパレルブランドのPRを担当。モデルとしては、国内・海外からのフォトグラファーのオファーがあり、奄美群島の美しい景色とともに「島で暮らす女性のありのままの美しさ」をアピールする写真集を発売する予定。

これまでの活動実績

東京生まれ。女性誌のライターを経て、半自伝的小説『ろくでなし6TEEN』（小学館）で作家デビュー。ほか、著作に『腹黒い11人の女』（サンクチュアリ出版）。2012年、加計呂麻島に移住。Web連載『女子的リアル離島暮らし』（YADOKARI）などで、都会生まれの女性が離島で暮らすさまを発信し、話題となる。2015年、『加計呂麻島で暮らす女性たち』をテーマにしたアパレルブランド『ILAND identity』を開始。総合プロデュースを担当する。Webカタログでは島で実際に暮らす女性をモデルとして起用。『島で暮らす女性のリアルな生き方を感じられる』と好評を博す。



合同会社オトナキ

沖永良部島

みずしま たける 水嶋 健 (ネルソン水嶋)

みなさん、うがみやぶら（こんにちは）！水嶋です。クラファン、起業、やりたいですか？私は両方経験しましたが、メッチャクチャ大変です。しぬかと思った。だからこそ得られることは多く、誰にも伝えたいのはもったいないな～と思ったんですね。それが私がキュレーターをやる理由。クラファン向きの方は「だれかをハッピーにしたい人」だと思っています。あなたのその覚悟と優しさ、クラファンでお金と勇気とに変えましょう。ちばりよ！

現在の活動内容

沖永良部島・和泊町在住。合同会社オトナキ代表、OVC（沖永良部ベトナム交流協会）会長。偏見なき社会を目指し多言語コミュニケーションツール「COMIGRAM（コミグラム）」などの開発販売を行う。また、ライター・ディレクターとして和泊町などのPRや求人記事制作に関わるほか、奄美群島南三島経済新聞の記者と琉球新報の通信員を兼務する。

これまでの活動実績

1984年大阪生まれ、2011年から2019年までベトナムでプロガーとして活動。3つの賞を受賞、日本とベトナムのテレビ番組やYahooトップなどで紹介。2014年に一度目のクラウドファンディング成功（86万円）。ベトナムへの恩返しとルーツの島の課題解決が一致し、2020年7月に島へ移住して外国人向けの交流支援事業を行う。2021年に二度目のクラウドファンディング成功（104万円）。鹿児島県の支援対象事業の採択を受けて島で起業する。



えらぶ島づくり事業協同組合 事務局長

沖永良部島

きんじょうまさゆき

金城 真幸

観光開発されていない自然と集落の共生・協働の精神で深い繋がりのある郷土愛に満ち溢れた人達と一地域を盛り上げたいと思い、5年前に沖永良部島に移住して日々活動して参りました。奄美群島には素晴らしい自然と文化が色濃く残っており、無限の可能性を秘めております。クラウドファンディングを通じて、その可能性を最大限に発揮し、奄美群島全体を一緒に豊かに輝かせていきましょう！

現在の活動内容

沖永良部島の農業、食料品製造業、一般診療所、福祉・介護事業、総合スーパー、ホテル・観光業の6業種・8事業者が人材不足という共通の課題解決のため組合を設立しました。各事業者の季節毎の労働需要に合わせて働き手を派遣する労働者派遣事業をメインの事業として展開しております。現在、島外から8名のIターン・Uターン職員を受け入れ、平均年齢26.5歳と大変若い方々が活躍しております。私は事務局として派遣職員が生き生きと働ける環境を整えております。

これまでの活動実績

和泊町地域おこし協力隊として、平成29年5月から令和2年3月までの約3年間、地域活性化というミッションで活動させていただきました。具体的な内容としては、集落の課題を解決するためのアイデア出しをするワークショップを開催、地元の青年団と古民家を改修して地域の場づくり、地域資源を活用した体験アクティビティとしてSUPクルージングツアーの造成、移住体験ツアーのコーディネート、海外の農業大学と島の農家を繋ぐインターンシップ制度の活用など様々な取り組みにチャレンジさせて頂きました。



一般社団法人しまやどり

沖永良部島

みやざわ ゆかり

宮澤 夕加里

私自身も2020年に、『ジャガイモねんど』商品化を目指してクラウドファンディングに挑戦しました。予備知識のないまま丸腰でスタートしてしまっただけで「もっとこうしておけばよかった」と思う点多々ありますが、目標を達成したときの喜びと応援してくださった方々への感謝の気持ちは、今も私の原動力となっています。こうした経験をこれから起案される方々に共有させていただくことで、少しでも力になれば幸いです。

クラウドファンディングを通して誰もがチャレンジできる土壌が醸成され、沖永良部島や奄美群島がますます盛り上がっていくことを期待しています！

現在の活動内容

“もったいない”をワクワクに変えることをテーマに掲げ、沖永良部島の未利用資源やフードロスを活用した『えらぶ色クレヨン』『えらぶ色のジャガイモねんど』等の商品を開発。土のクレヨン作り、天然絵の具お絵描き体験、蜜蝋エコラップ作りといった老若男女問わず楽しめるさまざまなワークショップを実施しています。

『えらぶ色のジャガイモねんど』が「かごしまの新特産品コンクール2021」鹿児島県特産品協会理事長賞受賞、「あまみ島一番コンテスト2021」工芸品部門最優秀賞受賞。

これまでの活動実績

旅行ガイドブックや雑誌の編集者としてキャリアを積んだ後、2018年にフリーランスの編集・ライターとして活動開始。「沖縄タイムス」「琉球新報」「離島経済新聞」といったメディアに寄稿し、独自の視点から沖永良部島の魅力を発信してきました。



エコツアーガイド、百合が浜ビーチハウス etc

与論島

さとうのぶゆき

佐藤 伸幸

3年間地域おこし協力隊の活動と2年間の地域での起業の体験を通じて、地域の活性化は1人のスター選手だけで達成できるものではなく、同じ思いを持った方々と連携・協力することとそれを支えるサポーターにより、初めて実現することを実感しました。

クラウドファンディングは起業前からファン（顧客）を獲得できるととてもいい仕組みだと思います。今回の仕組みを通じて、それぞれの経験値や知見を共有できると、そうした思いを同じくする仲間に出会い、共創できるのではないかと思います。

現在の活動内容

与論島にてエコツアーガイドを行う傍ら、島の薬草を軸にしたカフェ、ゲストハウス、トリートメントサロンを運営しております。2016年4月から与論町地域おこし協力隊として3年間活動しました。2022年4月で移住5年目を迎えます。宮城県出身です。地元の高校卒業後、茨城県日立市に3年、東京都昭島市に8年、中国天津市5年間住んでいました。妻は茨城県出身です。離島移住に憧れていて、旅行で与論島の存在を知り移住しました。

これまでの活動実績

与論島に移住してすぐ島の薬草を研究している山悦子さんと知り合いました。与論島の魅力と薬草について広く知ってもらいたいと思い、2019年11月に角川書店より出版された「与論島の山さん 薬草に捧げた人生と幸せな終末のメッセージ」という本の制作に企画の段階から関わらせて頂きました。この本をキッカケに全国放送のTV取材を受けたことをキッカケに、夫婦で「薬草カフェ ピクニック」を2020年4月にオープンしました。コロナ禍でのスタートになりましたが、協力隊時代に培ったネットワークを活かして、お客様に応援して頂き営業2年目を迎えようとしています。



WEBデザイナー

奄美大島

あさかわ あきこ

浅川 晃子

奄美大島に移住してきて2年、素晴らしい自然はもちろん、とても素敵な皆さんと出会い、奄美群島が大好きになりました。奄美大島に初のフリースクールを立ち上げる際のクラウドファンディングにも携わらせて頂きました。夢を応援することができるのは喜びです。これから奄美群島でクラウドファンディングをされる方のお役に立てたら幸いです。

現在の活動内容

WEBデザイナーとして起業家さんの応援をしています。

ホームページを作成したり、名刺やチラシの制作をしています。

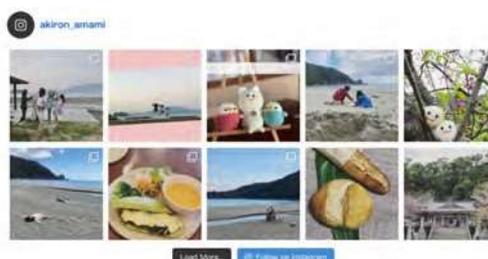
ホームページを作成したお客様がクラウドファンディングすることとなった際は、クラウドファンディングのサイト作成もさせて頂きました。

キュレーター・起業準備サポーターとして学ばせて頂き、これからはデザイン面だけではなく、総合的なクラウドファンディングの支援をさせて頂きたいと思っています。

これまでの活動実績

2021年11月 クラウドファンディングのサイト作成、支援

奄美大島での暮らしの魅力を発信中



奄美大島

はやし しんたろう 林 晋太郎

皆さん、はじめまして！奄美で何か新しいことに挑戦したい、そして同じく奄美で新しく何かに挑戦する方々を応援したい。この春、そういう想いを胸に、生まれ故郷である奄美にUターンしてきました。
クラファンは小さな始めの一步を踏み出すのにとっても魅力的なツールです。私のこれまでの経験から培った「想いを言語化し、実現までの段取りを組む力」を活かし、皆さんの想いを実現するためのお手伝いをしつつ、一緒にシマを盛り上げていけると嬉しです！

現在の活動内容

2022年3月までアフリカのタンザニアに在住。日本国大使館の外交官（一等書記官）としてタンザニアに対する開発協力支援（ODA）を担当。タンザニア政府や国際機関との国際交渉を通じ、日本の得意分野である農業や水産分野の支援、道路・電力施設といったインフラ施設の整備、小中学校や診療所の建設等、様々な分野の支援に従事。同年3月末に故郷の奄美大島にUターン。シマの地域振興を目指す起業家として新たに活動を開始。



※タマタマ漁業次官（左手前）と漁業省スタッフとの意見交換の様子



これまでの活動実績

2010年、農林水産省に入省。キャリア官僚（農業土木技官）として国営の農業水利事業に従事し、2011～2013年は北海道の稲作地域にてほ場整備事業等に従事。その間、東日本大震災の農地復興支援のため福島県新地町にも派遣。2014～2015年には外務本省にも出向し、農業分野のODA政策や国連でのSDGs策定業務に従事。2016年からは農林水産省の地方創生政策を担当し、農村の活性化政策の企画立案に携わる。その後、2019年よりタンザニアの日本国大使館にて勤務。

トータルウェルネスコーチ・DNA栄養学認定アドバイザー・Kyora Style 代表

奄美大島

しみず さなえ 清水 早苗

奄美で「新しいことに取り組みたい」「チャレンジしたい」という皆さまと一緒に、みんなが良くなる、みんなが喜ぶお手伝いを、キュレーターという役割を通じて出来ることを嬉しく思います。一緒にプロジェクトを成功させましょう！

現在の活動内容

2020年12月に奄美に移住してからは、島のさまざまな事業者の依頼で運営サポートをしながら、予防医学を元に健康や美容のカウンセリング・プランニングをオンラインで行う。

また、移住者の住宅事情の問題解決のため、リフォーム業者と組み、コーディネーターとして活動。

季節に応じて、農家さんと提携し島の特産物を東京など内地に販売している。

今後は、島のブランディングにつながるようなプロジェクトを計画・準備中。

これまでの活動実績

アパレル業界にて、マネージャー経験を積みながら、展示会やさまざまなイベント等の企画運営を担当後、バリ雑貨・家具の買付け、広報、オンラインストアのディレクターなどを経て独立。

東京都内で女性起業家100人を集めるイベントを定期開催、起業や経済に関する講座、予防医学や環境問題に関する講座など主催。

健康と美容、予防医学の講師としても活動。

